



中学不登校から高校生活を経て、昨春大学に入学された先輩の経験談をご紹介します♪

私は中学生で不登校を経験しましたが、その後進学した翔英高校FAクラスでは、友達と充実した高校生活を送ることができました。私は小さい頃から料理が好きで、好きなことを活かせる道に進みたいと常々思っており、高校時代にあった進路ガイダンスをきっかけに管理栄養士になることを決意しました。目標の大学を目指して受験勉強を頑張った結果、今は晴れて大学生となり栄養士になるための日々勉強に励んでいます。勉強はしんどいことも多いけれど、新しい知識を学ぶのはとても楽しいです。



軽音部にも所属していて、バンドではドラムを担当し、ライブに出たり、色々な人と交流しながら初心者なりに楽しんで過ごしています。部活に勉強と、忙しくも楽しい充実した学校生活を送っています。



中学を卒業して4年。当時の私は不登校である自分を責め、ただ漠然と来る明日に怯える日々を過ごしていました。だからこそ私は、今の中学生に、不登校という状態は必ずしも悪いことではないと知って欲しいです。出口の無いトンネルは無いけれど、出口の見えない真っ暗なトンネルを進むことに不安を感じるのは当たり前です。色々な人に色々な言葉をかけられると思いますが、どうか自分で自分を疑う事なく、信じた道を選んでください。

【お母さんより】

中学の頃、我が子の様子をずっと見てきて、私も毎日出口の見えないトンネルの中にいるようでした。我が子をどうしてあげたらいいのか？何が正解なのかわからなくて、押してみたり、引いてみたり…。優しくしたり、ちょっとつつこんでみたり…。子どもの様子に一喜一憂しながら私は毎日必死でした。その時その時にこう声かけしよう、こうしてみよう、って信じたことをやってきて…。そしたら、いつのまにかトンネルを抜け出せていた感じです。

今、大学生になって毎日楽しそうにしている我が子を見て、本当に良かったって思います。生きていてくれて良かった！と。

今振り返っても何が正しかったのかは分かりません。ただ、一つだけ自信を持って言えることは、どんな時も我が子に対する愛情はしっかり持ち続けたことです。

今、お子さんの不登校に悩んでいる親御さん！皆さんはお子さんがこの世に生まれ落ちてきた時から深い愛情を持って接してこられたのではないのでしょうか。もう、それだけで十分ではないのでしょうか。

親御さんの我が子を思う純粋な気持ちは、絶対その子に届くと思います！

その子のことはやっぱり親御さんが一番理解しているからです。だからこそ、その子を想ってかける言葉や、行動は必ずいつか実を結ぶのだと思います。

私が悩んでいる最中に周りから励ましてもらった言葉。それは、「大丈夫だよ！」って言葉です。

その時は不安な気持ちの方が強く、大丈夫、なんて言われてもとても信じられなかったんです。

でもトンネルを抜けたうちの家庭から、今悩んでいるご家庭に声をかけるとしたら…。

やっぱり「大丈夫だよ！」という言葉になるのかな、と思います。だって、大丈夫だから。

★次回は1/18(土) 10:00~11:30 (玉泉苑) 学校に行きにくいお子さんのこと、通信制高校等の情報交換など4~5名の親同士で集まっています。参加希望の方はLINEからお申込み下さいね ⇒



気になる子どものための親育ちの会「はるにれ」代表 巽 敦予